



## 課題4-3 あなたの身のまわりには**危険**がいっぱい!

通学路・家・地域に潜む危険を知り、これらを回避する方法を考えることで、災害発生時の恐怖や不安を少しでも減らし、適切な行動がとれる生徒を育てる。

通学路を一人で歩いているときに、大地震が発生しました。

学区の地図を利用し、実際に通学路を確認させる。

あなたの通学路にはどのような危険が潜んでいますか。

通学路の危険を確認することは地震への恐怖感をおおるためではなく、地震の際の対応を考えるために必要であることを理解させる。

- ・ブロック塀や家屋の倒壊
- ・電柱、信号機、樹木の転倒
- ・看板や標識の落下、ガラス破片の飛散
- ・道路の陥没や寸断
- ・火災の発生
- ・交通事故
- ・液状化の発生
- ・エレベーター停止 等

その危険を回避するためには、どのような行動をとるべきですか。

自分の命を守ることを第一に、地震が起こった時に発生する事態を予測し、その対応を考える。

- ・身近なもので、頭を保護する。
  - ・周囲の状況を冷静に観察し、適切な行動を考える。
  - ・倒壊・落下する危険があるものから離れ、身を低くして揺れが収まるのを待つ。
  - ・状況によっては、建物の中に避難する。
  - ・電線の状況に注意し、その切断による事故（感電等）に気をつける。
  - ・エレベーターは、最寄りの階に停止させ降りる。等
- 自他の命を守るためには、地域の人々との助け合いが不可欠であることに気づかせる。

深夜、就寝中に大地震が発生しました。

自分の部屋が安全か、確認させる。

この地震で、どのような被害が予測されますか。

- ・家屋倒壊及びそれによるけが・閉じ込め
- ・家具、テレビ、ピアノ、冷蔵庫、書棚、机などの転倒及びそれによるけが
- ・ガラスの破損・飛散及びそれによるけが
- ・火災発生及びそれによるやけど・けが
- ・液状化現象の発生 等

その被害を最小限にするために、あなたはどうしますか。

被害は、事前の備えで、軽減できる場合が多い。そこで、この課題学習をきっかけに、防災について、家族で話し合う機会を持たせたい。（課題4-4 「家族で話そう防災のこと」との関連。）

- また、就寝中は揺れを実際より大きく感じ、暗闇との相乗作用で恐怖心が高まることを念頭に、対応を考えさせる。
- ・家具等には転倒防止金具や滑り止めをつける。
- ・窓ガラスには飛散防止フィルムを貼りつける。
- ・事前に避難経路が確保できるようにしておく。
- ・寝室には転倒・落下の恐れがあるものをできるだけ置かない。
- ・電気器具、ガス器具は、地震により自動的に停止するものを使う。
- ・懐中電灯の準備。・枕元に衣服、靴を置いておく。
- ・居場所を知らせるためのホイッスル等を身につけておく。
- ・再通電時の火災発生を防ぐため、電気器具のスイッチ切断、ブレーカーの遮断を確実に行う。等

災害は地震だけではありません。

大型の台風や集中豪雨が、あなたの住む地域を襲った場合、どのような被害をもたらすのか考えてみましょう。

自分の住む地域に、危険だと思われる場所がありますか。

住んでいる場所によって被害が異なる。過去の台風や集中豪雨による被害を調べ、自分の住む地域の危険な場所を推測させる。道路の陥没や寸断、交通網のまひは、生活そのものに大きく影響することにも気づかせる。

予測される被害は、どのようなことですか。

過去の被害を参考にして考えさせる。

- ・河川の増水・氾濫
- ・道路や橋の崩壊
- ・海岸近くでは高波
- ・がけ崩れ
- ・樹木の転倒
- ・強風による家屋の倒壊や物の落下
- ・床上・床下浸水
- ・電線の切断
- ・交通機関の寸断

危険な場所を知ることは、自分の身を守るうえで大事なことである。地震と違い、台風などについては、天気予報等で事前に情報を入手できるので、避難するなどの対策を講じることが可能である。